

# Newsletter



NO. 76 1998. 5. 25

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局  
Tel 03-3704-9168 Fax 03-3704-9456 インターネットアドレス <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

## 日本教育情報学会 第14回年会のご案内 (第3報)

日本教育情報学会第14回年会が、下記の通り、千葉県松戸市の聖徳大学を会場に開かれます。「学習環境を支える情報のあり方」をテーマとしたシンポジウム、パネルディスカッション、多数の研究発表が行われます。教育における情報の役割がますます重要になってきている昨今ですが、こどもを取り巻く情報の氾濫と教育関係者の取り組みを中心に議論が展開し、有益な提言が聞かれると思いますので、是非ご参加ください。

期 日 1998年8月3日(月)・4日(火)

会 場 聖徳大学 所在地 〒271-8555 千葉県松戸市相模台531 (TEL 047-365-1111)

交 通 JR常磐線、地下鉄千代田線直通JR常磐線緩行線 松戸駅下車 徒歩5分  
(JR上野駅から約20分、または千代田線大手町駅から約30分)

事務局 聖徳大学内 日本教育情報学会第14回年会実行委員会

日 程

8月3日(月)	8月4日(火)
9:30~12:00 研究発表	9:30~12:00 研究発表
12:00~13:00 昼 食	12:00~13:00 昼 食
13:00~13:40 総 会 ホームページコンテスト表彰式	13:00~15:00 研究発表
14:00~15:30 シンポジウム	15:10~17:00 パネル討論
15:40~17:50 研究発表	
18:00~19:30 懇親会	

### 発表申込みについて

発表申込みの期限を過ぎておりますが、テーマによっては、受け付けることができるセッションがございますので、ご希望の方は、至急年会事務局にお問い合わせください。

## (1) シンポジウム

テーマ「学習環境を支える情報のあり方—新しい時代の情報メディアの整備—」

本学会は1985年に「教育情報の流通」の研究を主目的として設立され、本学会の特色として過去に何回か議論されてきましたが、テーマの広さと深さのため、ようやく輪郭をつかむ段階にたどり着いた程度と言っても過言ではない状態です。

そこで、今回の年会では、「教育情報」を「児童・生徒の学習環境」という視点から価値判断をすることとし、学習環境を支える、あるいは学習が円滑に進むために必要な教育情報はどのような情報であつたら良いのかという、より具体的なテーマで本来の主題に迫ろうとして設定しました。

司 会：芦葉浪久（十文字学園女子大学）

シンポジスト：岩田 修（日本マイクロソフト）、後藤忠彦（岐阜大学）、布村幸彦（文部省）

## (2) パネル討論

テーマ「総合的な学習におけるデジタルメディアの利用」

教育課程審議会の答申では「総合的な学習」という言葉が教育界に新鮮な印象を与えております。この意味づけ、あるいは存在理由は兎に角として、今日の学校教育においてはデジタルメディアの活用は広く行き渡っており、今後はその効果、影響が幅広く出てくると考えられます。

そこで、「総合的な学習」の中で効果的な学習活動が約束されるはずと、多くの教師の間で信じられているデジタルメディアの利用はいかにあるべきか、過去の蓄積・経験からいかに学ぶか、将来展望も含めて議論したいとして設定しました。

司 会：堀口秀嗣（国立教育研究所）

パネリスト：田中克昌（江東区立第四大島小学校）、土橋永一（聖徳大学）、  
藤田賢一郎（上越教育大学附属中学校）

## (3) 課題研究

課題1. 「情報教育構築の諸課題」 コーディネータ：若山皖一郎（十文字学園女子大学）

情報教育は一部の研究を除いて、具体的な内容の提案が少ない状態です。なぜ情報教育を行うのか、情報教育は必要なのか、必要であるならその理由は何なのかという大きな問題はまだ残っています。これらに関する真剣な研究の応募を期待します。

課題2. 「地域ネットワーク」

コーディネータ：久世 均（岐阜県生涯学習センター）、加藤直樹（岐阜大学）

各県、各地域において教育委員会等を中心としてネットワークを組み、各学校と結ぶ計画が着々と進んでおります。これによって何を指し、何が成果として残るであろうか、その実際の問題点を含めて議論したいと思います。

課題3. 「インターネットと学校教育」 コーディネータ：成瀬善則（富山商船高等専門学校）

早い時期に各学校がインターネットにつながれる可能性が高まっています。しかし、実際の授業でのインターネットの活用となるとすでに様々な問題点が出てきています。これらの問題点と解決策を含んで、具体的な取り組み例、将来計画などの応募を望んでおります。

課題4. 「特色ある情報教育の試み」 コーディネータ：林 徳治（京都教育大学）

情報教育はすでに小・中・高・大その他各種教育機関で行われています。しかし、相変わらずどこでも「ワープロ・表計算・データベース」の三種の神器でいいのかという議論は続いています。これを打ちうち破るべき特色ある情報教育も各地で行われていることも事実です。このような実践を集めて議論したいと思います。

課題5. 「遠隔教育」 コーディネータ：村瀬康一郎（岐阜大学）

大学間での人工衛星を使った授業はすでに行われていますが、テレビ会議システム、インターネットを使った遠隔授業などの技術革新も進んでおり、これらを用いて何が変わるのか、価値ある結果が生まれるのか、問題点は何か等を議論したと考えます。

#### (4) 一般研究発表

##### 発表予定セッション

教育情報一般, データベース, マルチメディア, メディア, 教育用ソフト一般, 学習ソフト開発, 教材開発, 情報システム開発, 情報教育, 情報処理教育, ツールソフト利用教育, シミュレーション学習, 情報検索教育, 教育用ソフトウェア, 教育情報ネットワーク, ヒューマンインターフェース, インターネット, パソコン通信, 学習評価, 授業分析

#### (5) 参加申込

研究発表の有無にかかわらず, 年會に参加される方は同封の年會参加申込書(はがき)で, 参加申込をしてください。(発表申込みをされている方も, 必ず参加申込み手続きをおとりください)

参加申込書(はがき)に必要な事項をご記入の上, 第14回年會実行委員会事務局まで送付してください。送付の際には, お手数ですが切手をお貼りください。

参加申込締切 7月15日(水)必着(期日までに申し込めない方は当日参加扱いになります)

参加申込書送付後, 同封の郵便振替用紙をご利用になり, 必要事項をご記入になり, 参加費等を郵便局から7月24日(金)までにお支払いください。

○参加費用

・会員の予約の場合	・会員の当日の参加または会員外
参加費 3,000円	参加費 4,000円
資料代 3,000円	資料代 3,000円
懇親会費 4,000円	懇親会費 4,000円

○論文集の郵送申込について(年會に参加されない方のみ)

年會に参加されない方で, 論文集を購入希望の方は参加申込書の該当欄にご記入の上, 申込をしてください。年會終了後論文集を送付いたします。1冊3,500円(発送諸費用込み)

#### (6) 宿泊案内

下記代理店が, 宿泊先のご案内をさせていただきます。宿泊ご希望の方は, 直接, 「日本教育情報学会年會の宿泊の件」ということでお問合せください。

「ツアープランナーオプジャパン聖徳大学内営業所」 電話 047-360-5911 FAX 047-360-5912

宿泊先例(料金はサービス料込み, 消費税別: 変更になる場合もありますのでご了承ください)

「ウイングインターナショナル北松戸」 北松戸駅(松戸まで2分)より徒歩1分

シングルルーム 6,900円, ツインルーム 13,200円, 朝食はプラス1,000円

「銀座キャピタルホテル」 地下鉄日比谷線築地駅(上野まで13分)より徒歩2分

シングルルーム 9,100円, ツインルーム 14,800円, 朝食はプラス1,100円

「秋葉原ワシントンホテル」 JR秋葉原駅(上野まで4分)より徒歩1分

シングルルーム 11,400円, ツインルーム 17,800円, 朝食はプラス1,300円

「ホテル丸谷」 上野駅より徒歩3分

シングルルーム 7,500円・9,500円(バス付), ツインルーム 13,000円, 朝食はプラス1,000円

「ホテルサンルート浅草」 地下鉄銀座線田原町駅(上野まで5分)より徒歩1分

シングルルーム 8,580円, ツインルーム 16,500円, 朝食はプラス1,000円

#### 日本教育情報学会 第14回年會実行委員会事務局

〒271-8555 千葉県松戸市相模台531 聖徳大学内

TEL 047-365-1111

木下昭一 (kinosita@seitoku.ac.jp),

土橋永一 (dobashi@seitoku.ac.jp)

郵便振替「00140-9-35823」日本教育情報学会第14回年會実行委員会

## ………学会誌「教育情報研究」投稿要領改訂のお知らせ………

投稿要領を次の通り一部改訂いたします。ご執筆の方は「投稿要領」「原稿執筆の手引」をご参照になり、投稿ください。

### 原 稿 募 集

- ◇ 専門会員による論文・解説・その他投稿を歓迎します。
- ◇ 専門会員以外の方でも、専門会員からの推薦があれば投稿することができます。
- ◇ 投稿要領、原稿執筆の手引は、以下の通りですのでご注意ください。

### 投 稿 要 領

本誌「教育情報研究」への投稿については、この要領の定めるところによる。

#### 1. 掲載内容

本誌は、教育情報に関する研究誌であり、下記の論文等を掲載する。

##### (1) 論 文

- ・ 教育情報に関する独創的な研究結果の報告、あるいは、会員の参加資料として役立つことを目的としたデータ等をまとめたもの。
- ・ 研究報告、教育情報資料、特定の分野の現状等を広い角度から文献等を引用して記述したもの。
- ・ 研究速報等、新しい試みやその結果、意見、提案、論議等を記述したもの。

##### (2) 論 説

##### (3) 解 説

特定の主題について専門外の者にもわかりやすく解説したもの。

##### (4) 実践報告

授業実践等の報告をおこなうもの。

##### (5) その他

研究会報告、講演録、研究情報等。

#### 2. 論文などの条件

- (1) 論文については、内容の主題の部分が未掲載のものであること。また一部が既発表である場合でも、それをさらに研究をすすめたものであることを原則とする。
- (2) 原稿は原稿執筆の手引に従って執筆してあり、投稿手続に従って投稿されていること。

#### 3. 投稿原稿、及び投稿手続

##### (1) 原稿の投稿

下記のものを編集委員会事務局へ送付する。

- ① 投稿票 (A4 1枚 書式自由) 題名、会員番号、著者(所属)、連絡先(住所、電話、FAX、電子メール、勤務先/自宅の別)を明記する。
- ② 原稿(オリジナル) 原稿執筆の手引に従って執筆してあるもの。図表、写真等は、本文中の引用位置に貼り付けた状態であること。(図表、写真などはその内容が分かればよいので、この段階でオリジナルを添付する必要はない)
- ③ 原稿(コピー) 3部 原稿(オリジナル)をコピーしたもの。  
なお、この段階での電子ファイルの提出は必要ない。また、原稿のコピーは手元に残しておくこと。

##### (2) 投稿論文の受理

投稿論文は受付されると同時に受領書が送付される。投稿後2週間を経っても受領書が送付されない場合は、編集委員会事務局へ問い合わせること。

##### (3) 論文の審査

投稿論文は、専門会員による審査の結果に基づき、編集委員会においてその取り扱いを次の①～③のいずれかに決定する。

審査基準は、有効性、新規性、信頼性、了解性および論文の体裁の5項目とする。

#### ①採録

採録の結果を投稿者に通知する。

#### ②条件付き採録

照会后修正することを条件として採録する。なお、照会后3ヶ月以上経過してからの投稿については、新規投稿論文とみなす。

#### ③返戻

返戻理由を付して、原稿を投稿者に返す。

#### (4) 採録が決定した投稿論文の取り扱い

採録が決定した場合は、次のものを提出する。

- ・最終原稿（プリントアウトしたもの、図表、写真等の挿入位置を明記する）
- ・最終原稿の電子ファイル（本文のみをテキストファイル形式で記録したもの）
- ・図表・写真等のオリジナル（オフセット印刷になるので、明瞭なものであり、刷り上がり寸法の1～2倍の大きさであること。裏に図表番号を記入する）

なお、提出した原稿等は返却しない。

#### (5) 条件付き採録が決定した投稿論文の取り扱い

論文を修正した後、再投稿すること。再投稿原稿の採録が決定した場合は、投稿者に通知する。

#### (6) 校正

採録が決定した原稿は、印刷の際に著者校正を1回行う。元原稿および原図面を訂正することは原則として認めない。また、この時に別刷を注文することができる。

### 4. 投稿論文の送付方法

郵便、宅配便、持参とする。

〒352-0017 埼玉県新座市菅沢2-1-28 十文字学園女子大学 社会情報学部内  
日本教育情報学会「教育情報研究」編集委員会事務局

TEL 048-477-0555 FAX 048-478-9367

## 原稿執筆の手引

1998年5月改訂

### 1. 原稿書式

- (1) 本文はワープロ等で作成し、A4判の用紙を使用すること。
- (2) 原稿は、刷り上がり（1頁あたり 24文字×37行×2段）が、12頁以内であり、かつ偶数頁におさまることを原則とする。（学会誌刷り上がりイメージと同様）

### 2. 記入方法

学会誌刷り上がりイメージと同様なので、学会誌を参照すること。

#### (1) 題目の記入（1頁目 1段抜き）

原稿の冒頭には、題目（和英両文）、著者名（和文）を入れる。題目と著者名を合わせて、11行分で記入する。

#### (2) 所属等の記入（1頁目 最下行から数行 1段抜き）

1頁下部に罫線を記入し、その罫線下部に、著者名（ローマ字）、所属（和文）、住所（和文）を入れる。著者名（ローマ字）は、著者名（和文）と対応が付くように、\*（アスタリスク）記号を用い引用する。なお、論文受理後に論文受理日を記入するので、1行分空けておく。

#### (3) 和文抄録、キーワード（1頁目 12行目から以降2段）

著者名（和文）の次の行から記入する。和文抄録は400字以内、キーワードは5語程度とする。なお、キーワードには見出しとして、<キーワード>をつける。和文抄録の見出しは必要ない。

#### (4) 本文(2段)

はじめ、本論、まとめの順とする。本論は簡潔かつ明瞭に記述すること。

① 見出しは、次の順とする。

大見出し 1. XXX 中見出し (1) XXX 小見出し ①XXX

② 図(写真)・表には、それぞれ通し番号および名称をつける。

・図(写真) 図(写真)の下に 図1(写真1) XXX

・表 表の上に 表1 XXX

大きな図表の場合には、適宜本文のレイアウトを変更し、見やすくすること。

論文採録後に白黒で印刷されるため、写真は原則として白黒写真を用いること。

寸法 左右(最大)72ミリ(片段) 150ミリ(両段)

天地(最大)197ミリ(名称を含む)

③ 句読点は、まる「。」、カンマ「、」、中点「・」、コロン「:」を用い、一字分とする。

④ 参考(引用)文献は、まとめて末尾に次の順で記述する。

・雑誌の場合 著者(発行年)、表題、雑誌名、巻数、ページ

・単行本の場合 著者、書名、発行所、発行年

参考(引用)文献には、本文中での参考(引用)順に通し番号(例:[1])をつけ、本文中の該当箇所にも番号(上付)をつける。

以上

## ———ハワイ・インターネット教育セミナー98のご案内———

年会翌日の8月5日東京(松下電器マルチメディアセンター)、8月7日京都(京都教育大学)で、ハワイ州教育局エレクトロニック・スクール担当ケリー氏(Mr. Kerry K. Koide)とハワイ大学遠隔マルチメディア教育担当キャシー女史(Ms. Kathy Yamashiroya)をお招きして、日本教育情報学会主催、松下視聴覚教育研究財団後援により、「ハワイ・インターネット教育セミナー98」を開催いたします。

皆さま奮ってご参加ください。詳しくは同封のご案内をご覧ください。

### ● 会費お支払いのお願い ●

Newsletter NO. 75で本年度の会費のお支払いをお願いいたしております。

ご都合によりお支払いが遅れている方は、早急に手続きをお願いいたします。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

専門会員10,000円/一般会員7,000円/公共会員15,000円/賛助会員5口以上(1口20,000円)

なお、振込用紙がお手元ない方は、日本教育情報学会本部事務局までお問い合わせください。

(年会の振込用紙とは違いますのでご注意ください)

※第14回年会事務局、ホームページコンテスト事務局、セミナー事務局、本部事務局は、所在地、振込先等それぞれ異なりますので、お間違いないようお願いいたします。

## 第2回 日本教育情報学会 ホームページコンテスト

【主催】 日本教育情報学会

【共催】 財団法人 視聴覚コンサルタントセンター (AVCC)

【趣旨】

最近のインターネットの加速度的な発展は目を見張るものがあります。中でもホームページの普及は2, 3年前には考えられないものです。特に、ホームページは個人や企業、教育機関が自由に、比較的安い費用で情報発信を行えるという点で、非常に画期的なものだといえます。

このようなホームページの普及の中で、ホームページのクオリティを高めるとともに、教育における利用を考えるため、日本教育情報学会では以下の要領でホームページコンテストを開催いたします。

【応募要領】

応募作品 HTML言語で書かれたホームページであり、ブラウザとして Netscape 3.0, または Internet Explorer 3.0以降を使用して見ることができるもの。

応募資格 年齢, 職業, 国籍, 会員であるか否かは問いません。

応募条件 応募作品は、主催者及び主催者が認める各種団体、法人等が本コンテストの審査の発表、PR、広報のために上映、複製、印刷、展示をすることがある。また、審査やその他の理由により主催者が作品の複製を行った場合には、その複製物の保存、消去については主催者に一任すること。

応募作品は日本教育情報学会または、AVCCのホームページ上で公開する。

応募方法 別紙のホームページコンテスト応募用紙に必要事項を記入の上、下記の日本教育情報学会事務局へ送付する。

著作権について 応募作品は応募者自身が著作権を有するもの、または第三者から応募に必要な著作権使用の許諾を受けているものに限ります。

応募作品の中の一部に応募者以外の第三者が著作権を持っているもの（写真、イラスト、美術作品等）を使用する場合には、応募に必要な著作権使用の権利を応募者自身が権利者から取得してください。

万一、第三者から権利侵害、損害賠償等の主張がなされた場合、主催者は一切責任を負いません。

審査 教育的観点から作品の内容、構成について審査します。

審査員 木田宏（日本教育情報学会会長）、白川雄三（大阪学院大学）、久保田了司（財団法人視聴覚コンサルタントセンター専務理事）、若山皖一郎（十文字学園女子大学）、他

審査結果発表 1998年 8月 3日（月）。第14回日本教育情報学会年会会場にて発表する。

表彰 「日本教育情報学会賞」賞金10万円、副賞。

「部門賞」賞金5万円、副賞。（小中学校の部、高校の部、大学の部、専修学校の部、社会教育施設の部、個人の部、海外日本人学校の部、企業の部）

参加申込締切 1998年 7月 4日（土）

参加申込書送付先・問い合わせ先

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 産能大学内 日本教育情報学会運営本部事務局

Tel 03-3704-9168 Fax 03-3704-9456

Email. [wakayama@jumonji-u.ac.jp](mailto:wakayama@jumonji-u.ac.jp)

第2回 日本教育情報学会 ホームページコンテスト 応募用紙

ホームページ名	
作成団体名	
連絡責任者氏名	
連絡責任者住所	〒  Tel (      )      -      Fax(      )      -
ホームページURL	
ホームページの特徴	
ブラウザの種類	ネットスケープ マイクロソフト・インターネット・エクスプローラ (該当するものに○をしてください。両方共の場合は両方に○をしてください)
参加部門 (該当するものに○をしてください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の部    ・中学校の部    ・高校の部    ・大学の部</li> <li>・短大の部    ・専修学校の部    ・社会教育施設の部</li> <li>・個人の部    ・海外日本人学校の部    ・企業の部</li> </ul>
CGI, Java等 ヘルパーの使用	
備 考	